

国内最大の大地震でのお見舞い

3.11東北関東大地震

東北関東大地震は、マグニチュード（M）9.0という記録が残る1923年以降の国内最大の地震でした。この震災で県内でも死者19人（13日現在）をはじめ多大な被害が発生しました。

会員の方もそれぞれ家屋や室内でも大きな揺れによる被害に遭われたことと思います。被害に遭われた方には心よりお見舞い申し上げます。

この天災に負けぬように、できるだけ早く生活を立て直すために全力をあげるようお互いに頑張りましょう。

（茨城県平和委員会・事務局）

活動交流集会での話し合いを

力に替えて新しい仲間を迎え入れよう！

3月5日／県平和委員会活動交流集会開く



3月5日（土）に水戸市市民会館にて開催された「2011県平和委員会活動交流集会」は、各平和の会（平和委員会）から29名の方の参加がありました。日本平和委員会から岩槻事務局次長が参加されました。

全体会での仲間づくり推進体制の説明の後、2つのグループに分かれて活動交流を行いました。

今回の交流集会は、特に仲間づくりに絞っての話し合いを主眼において開かれたもので、各グループともその主旨に沿って、意見を出し合いました。

グループの話し合いでは、各地域の平和の会の仲間づくりへの取り組みの現在の状況を出し合いながら、「どうすれば仲間がつかれるか？」という点を重点的に討議しました。

- ・限られた人が「牽引車的な役割」を果たして会員を増やしている。（阿見）（石岡）
- ・役員の掛け持ちが多く、事務局会議をもつ時間を作るのが困難な状況にある。（笠西）
- ・誘いたい人も皆それぞれ重複していろんな会に入っているのので、新しい会員獲得は難しい。
- ・楽しい行事を行って、遊びなどを通じて自然に声をかけられるようにしている。（水戸西）
- ・カバンの中に会員お誘いに使える資料を常にに入れておき、機会があるごとに話しをだして必要なときに渡せるように心がけている。（石岡）
- ・文化活動などを通じて幅広い人脈を作っておくことが大切で

ある。又、やはり機会のある時に渡せる資料を持っていることの必要性を感じている。（北茨城）

・地域の平和の会独自の規約を作り、それを持って周囲の人に当たっていきたい。（内原・友部）

・会員も対象者も高齢化が進んでいるが、役員会で相談し、各々の役員が候補者を持ち寄ることにした。（美和緒川）

・動ける人が少ないが、役員会を定期的に（1回/月）開く事を確立した。行事を絞って会員全員が集まる機会をつくるようにしたい。（太田）

・組合が中心の活動で平和の会まで踏み込むことが難しいが、定年退職する人に地域の繋がりとして平和の会に入ってもらおう呼び掛けたい。（潮来）

・意見広告の御礼をかねて会員の自宅訪問をして、周りの人を紹介してもらおうようにしたい。（下館）

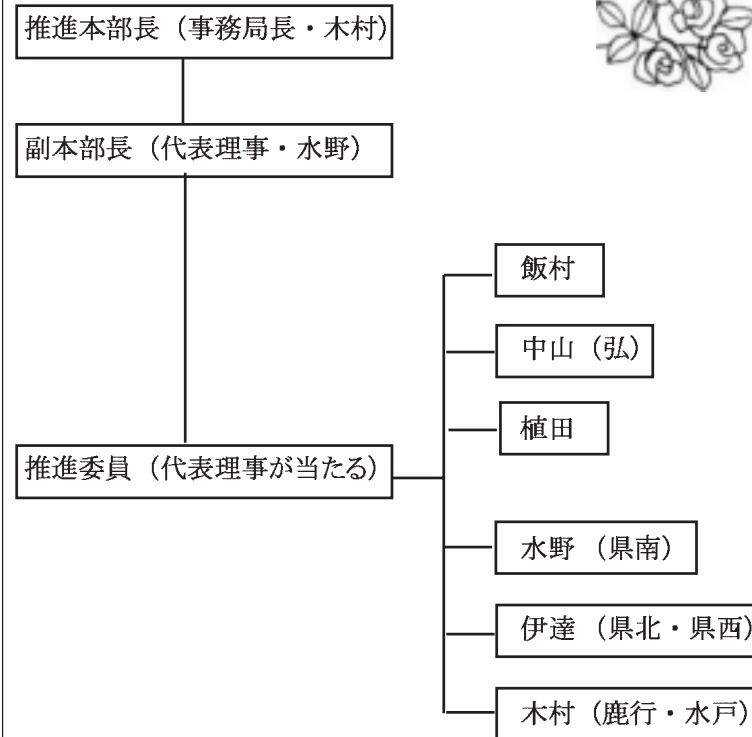
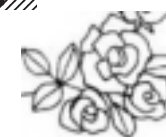
等の意見が出された中で、次のようなことが確認出来ました。

- 「数は力」を共有認識に！
- 敷居を低くして、誘いやすい行事などを組んで抜ける！
- 会員のつながりを通じて広がりをつくる！

又、「平和かわら版」に対する意見・要望が多く出されました。今後、順次「かわら版」に記載し、会員の皆さんの意見を伺っていきます。

（第2グループ報告：小林）

2011仲間づくり推進体制



◎代表理事・事務局長をもって推進本部員とし常時、各平和の会と連絡をとり必要に応じて随時会議を開ける体制をとります。また、各平和の会への支援・協力をすすめます。

◎各平和の会では、常任理事を中心に各理事及び会員が協力して地域・職場推進委員を募り、仲間づくりをすすめます。

◎仲間づくりのための「推進期間」は6月11日の県大会までとします。

平和新聞

2011年3月15日号(火曜日)
1951号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝 1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 589
2011.3/15

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川 5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

3.1ピキニデー「核兵器全面禁止」の声をさらに大きく！

アメリカの水爆実験で日本漁船やマーシャル諸島島民らが被災した「ピキニ事件」（1954年）から57年となった1日、被災した漁船「第五福竜丸」の母港・静岡県焼津市で「献花墓参行進・墓前祭」「3・1ピキニデー集会」がおこなわれました。ピキニ事件犠牲者を追悼し、核兵器廃絶を誓いあいました。

原水爆禁止世界大会実行委員会と3・1ピキニデー静岡県実行委員会が主催した集会には1600人が参加。新しい国際署名「核兵器全面禁止のアピール」を住民ぐるみの運動に発展させようと訴えるアピールを採択しました



【久保山愛吉さんの遺影を先頭に墓参平和行進をする3・1ピキニデー参加者：1日、静岡県焼津市】

『代表理事・常任理事はこんな人』

第17回目は、常任理事・池田征一さんです。

(笠西平和の会)



私は、日中戦争の真っ只中1939年1月に生まれ、国民学校1年生の夏に終戦を迎えました。小・中・高と地元の学校を出て、地元にある職場に就職しました。就職して2年目にあの60年安保闘争を労働組合の役員として体験し、その後平和運動にも入っていきました。

職場は地域と密着していたため、定年まで勤めることもなく、途中で市議員を3期勤めて交替しました。今でも地域との関わりも多く飛び歩いている毎日です。趣味は、若い頃は冬はスキー、夏は野球と動いていましたが、現在は読書が中心です。

茨城から青年4名参加！ 分科会で秋山さんが発言

分科会では「北朝鮮脅威論」に関する発言が相次ぐ

分科会での発言の報告

秋山 さよ子 (水戸市在住)

今年のピキニデー集会へ茨城の青年は大学院生1名、大学生2名、そして私の4名で参加しました。うち大学院生は初参加です。

ここでは私の分科会での発言を報告させていただきたいと思いません。

『今年も、非核平和の日本とアジアをつくろうー「核の傘」からの離脱、非核3原則の実行、基地撤去の運動との連帯、非核の日本の実現を一に参加しました。今年のパネリストは韓国・進歩新党政策委員のキム・スヒョンさん。進歩新党は昨年の延坪島砲撃事件で北朝鮮との全面戦争も辞さずとの国会決議が提案された時、唯一反対を表明しました。そのためか、「北朝鮮脅威論」に関する発言が相次ぎました。私もその一人です。

「北朝鮮脅威論」の流布は北朝鮮・アメリカ両政府の思うつぼです。脅威というならば、私はむしろ在日米軍の方がよっぽど脅威だと考えています。在日米軍の事故・犯罪による日本人の死傷

者は軽く1000人を超えています。北朝鮮の軍隊が日本に乗り込んできて、一人でも日本人を殺したことがあったでしょうか？

また、北朝鮮が何かすると日本国民は「経済制裁」を簡単に口にしがちですが、自分たちの選択の先に何があるのかよく考えなければなりません。経済制裁は最下層の人々からダメージを受けていきます。この人々は反体制か、あるいは反体制になりうる人たちです。彼らの力なしで北朝鮮の独裁政権を打倒することはできません。北東アジアの非核・平和の実現を目指すなら、私たちは彼らを支援し共に協力していくことが必要なのです。

最後に、ヒバクシャが生きている間に核兵器を廃絶することと同様に、民族分断を経験している方々が生きている間に統一を実現したいという思いを伝えさせていただきました。』



基礎から学ぶ原発問題

1月23日の第1回原発問題学習会は、会場いっぱいの36人の参加でした。

第2回は「原発の安全性」についての学習です。原発に頼らない立場からの発言を聞いてみましょう。多数の参加を期待しています。(土浦平和の会：井上仁志)

第2回 「原子力発電所は安全か」

講師：原子力資料情報室 上澤千尋氏

と き：2011年3月27日(日)午後2時～4時

と ころ：いばらきコープ土浦店

2階コミュニティルーム

(土浦市小松1-4-27)

TEL/029-825-0231)

土浦駅東口より600m

参加料：無料

主 催：核戦争を防止し平和を
求める茨城医療人の会



東海発電所